



海、山、川、バラエティーに富んだ自然が思づくやんばる路。やんばるの各集落の中に入っていくと、そこには自然環境や歴史、文化を大事に育んできた農村の暮らしがある。古い瓦屋根、屋敷前に立つひんぶん、防風林のフクギ並木…沖縄の原風景ともいえるたたずまいを色濃く残し、今尚沖縄に息づいている生活文化でもある。あちこちに咲き誇る花々や山々をバックに一面に広がる畑、息吹く農家の営みや暮らしが、農村ならではの景観を形作り、都会にはない資源の宝庫であることを実感させる。地域の歴史や生活文化を知ること、そしてそこに住んでいる人との交流もまた、収穫の一つとなることだろう。



【 オクシラルカの花畑 】
オクシラルカの花が一面に広がる美しい景観。開花時期は春先。
(大宜味村喜如嘉)

地域ぐるみであじさいを植栽
～グリーン・ツーリズムの実践～

学校と地域住民が一体となり、学校から農村公園まであじさいを植栽。将来は日本一早いあじさい祭りを開催する予定。七色に光るあじさいの花が咲き揃う季節にご期待…(本部町伊豆味)



【 農家の庭先 ～あじさいロード～ 】
4月～5月の雨季、あじさいが農家の庭先を彩る。



【 野甫共同売店 】

いまだきこんなお店があるなんて…昔にタイムスリップしたような空間で、ぜひ残して欲しい貴重なお店だ。
(伊平屋村野浦)



【 押川の桜 】

沖縄一大きい押川の桜。歴史を見つめてきた風格が感じられる。
(大宜味村押川)



【 備瀬のフクギ並木 】

葉が厚く頑丈なフクギは、古くから防風、防火林として利用されており、備瀬集落内では県内最大規模のフクギ並木が見られる。
(本部町備瀬)



【 のどかなたずまい 】

伊是名村は古い歴史を有し、美しい自然と調和のとれた住み良いむらづくりをすすめている。残してきたい貴重な資源だ。
(伊是名村勢理客)

「深緑の村」

やんばるの農村を巡り歩いてみると、四季折々の花々、集落のたたずまい、農家の営み、人々の暮らしが、ここにはそこはかとない風情と息吹が感じられる。農村の小道を散策しながら、自然とふれあったり、地元の人との出会いを楽しんだり、ゆったり、のんびりとひとときを過ごすしてみてもいいが。



【 歩きたくな道 】

木のトンネル、道端の花々、小鳥のさえずり、すんだ空気が心地よい。一步、集落の中に入ると、こんな美しい景観に出会える。さあ、あなたも「歩きたくな道」を探してみよう。
(本部町伊豆味)



【 城山と菊 】

菊畑の後ろにそびえたつ城山(くすくやま)。伊江島タッチューの呼び名で親しまれ、村のシンボルとなっている。どかで農業が盛んな島だ。
(伊江村)